

問1 後鳥羽上皇が鎌倉幕府の打倒を目指して挙兵し、敗北した事件を何という？

1. 承久の乱                      2. 保元の乱                      3. 元寇                      4. 平治の乱

問2 元を訪れ、その見聞を記録として残したイタリアの商人は誰？

1. ザビエル                      2. マテオ・リッチ                      3. マルコ・ポーロ                      4. イブン・バットウータ

問3 鎌倉時代初期に焼失したあと、源平の戦いの後に再建された奈良にある有名な寺院を何という？

1. 興福寺                      2. 法隆寺                      3. 唐招提寺                      4. 東大寺

問4 後鳥羽上皇が鎌倉幕府の打倒をめざして挙兵し、幕府軍に鎮圧された「承久の乱」が起こったのは何年？

1. 1221年                      2. 1274年                      3. 1185年                      4. 1192年

問5 鎌倉時代、執権の北条泰時が制定した法律を何という？

1. 1192                      2. 1185                      3. 1333                      4. 1232

問6 一遍が諸国を巡りながら、念仏を唱えて踊ることで教えを広めた活動を何という？

1. 踊念仏                      2. 座禅                      3. 唱題                      4. 念仏

問7 十三世紀後半、モンゴル帝国から日本へ侵攻してきた軍隊を何という？

1. 元軍                      2. 朝廷軍                      3. 平氏軍                      4. 鎌倉軍

問8 鎌倉時代の武士の間で行われていた、子どもたちに領地を分け与える相続方法を何という？

1. 一括相続                      2. 永代譲渡                      3. 単独相続                      4. 分割相続

問9 承久の乱において、倒幕を狙って挙兵した上皇は誰？

1. 白河上皇                      2. 後醍醐天皇                      3. 後鳥羽上皇                      4. 崇徳上皇

問10 鎌倉幕府が、地方の軍事や警察、徴税を行うために設置した役職は守護と何か？

1. 執権                      2. 評定衆                      3. 守護                      4. 地頭

問11 琵琶法師により、当時の人々に語り伝えられた鎌倉時代の軍記物語を何という？

1. 枕草子                      2. 源氏物語                      3. 方丈記                      4. 平家物語

問12 13世紀初めに建国され、中央アジアまでを征服して大帝国を築いた人物は誰？

1. フビライ・ハン                      2. バトゥ                      3. フラグ                      4. チンギス・ハン

問13 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？

1. 国風文化                      2. 天平文化                      3. 鎌倉文化                      4. 室町文化

問14 『方丈記』などの文学作品に色濃く反映されている、社会が安定せず、戦乱が絶えない世の中の状態を指す言葉は何？

1. 乱世                      2. 治世                      3. 平穏                      4. 盛期

問15 鎌倉時代に臨済宗を日本に伝えた僧侶は誰？

1. 日蓮                      2. 道元                      3. 親鸞                      4. 栄西

問16 鎌倉時代に、踊り念仏を広めて時宗を開いた僧侶は誰？

1. 道元                      2. 親鸞                      3. 一遍                      4. 日蓮

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 承久の乱	1221年、後鳥羽上皇が幕府の倒幕を狙って挙兵した事件を承久の乱と呼びます。北条政子の演説によって御家人たちが結集し、幕府軍は朝廷軍を圧倒しました。この乱の結果、幕府は朝廷の力を抑え込むことに成功し、天皇の廃位や配流を行う権限まで持つようになりました。
問2	答え 3 マルコ・ポーロ	マルコ・ポーロは父親と共にヴェネツィアを出発し、数年かけてモンゴル帝国の都である大都に到着しました。彼は約17年間フビライ・ハンに仕え、中国全土を巡察して貴重な情報を得ました。帰国後に執筆された『東方見聞録』では、東洋の富の凄まじさや、日本の存在について詳細に記しました。
問3	答え 4 東大寺	鎌倉幕府の協力のもと、重源という僧が中心となり、東大寺の再建が進められました。全国から寄付を募り、当時の最高の仏師たちによって多くの仏像が新造されました。南大門の金剛力士像はその象徴として制作されたものです。
問4	答え 1 1221年	1221年、後鳥羽上皇が中心となって起こしたのが承久の乱です。これに対し、幕府は北条政子の演説で御家人を結束させ、京都へ軍勢を送りました。幕府軍の勝利は、それまで優位であった朝廷が武家に完全に屈服したことを意味しました。
問5	答え 4 1232	この法律は、それまでの習慣を基礎とし、武士社会の道理に基づいて裁判を行うための基準を明確にしたものです。これにより、幕府による全国的な裁判の公平性が保たれるようになりました。
問6	答え 1 踊念仏	一遍が始めた「踊念仏」は、太鼓を打ち鳴らし、念仏を唱えながら踊ることで、深い宗教体験を得ようとするものです。この活動は非常にエネルギーで視覚的にも人々の注目を集め、武士から農民、商工業者まで幅広い階層の人々を熱狂的に惹きつけました。
問7	答え 1 元軍	元軍は、モンゴル人を中心に、支配下の漢人や高麗人などを加えた巨大な連合軍でした。火薬を使った「てつほう」などの兵器を使い、集団で組織的に戦う戦法をとったため、個人の武勇を競う当時の武士たちを苦しめました。
問8	答え 4 分割相続	当時の武士社会では、家督を継ぐ長男だけでなく、他の兄弟にも領地を分ける分割相続が一般的でした。これにより、相続のたびに個々の武士が持つ土地が細分化され、一つの家が持つ経済力が低下していきました。
問9	答え 3 後鳥羽上皇	後鳥羽上皇は、北条義時追討の院宣を出し、全国の武士に呼びかけて幕府打倒を試みました。しかし、北条政子の演説により結束した幕府軍の前に敗北しました。
問10	答え 4 地頭	守護は各国の軍事指揮や治安維持を行い、地頭は荘園や公領の管理、年貢の徴収を行いました。これにより、幕府は朝廷の権限が強い地域にも介入できるようになりました。地頭の中には、横暴な振る舞いをして農民や荘園領主とトラブルを起こす者も多く、幕府の権力基盤としての側面と、社会問題の原因という側面を持っていました。
問11	答え 4 平家物語	『平家物語』は、平氏の滅亡までの過程を力強く描き出した文学作品です。この物語は書物として読まれるだけでなく、琵琶法師と呼ばれる人々が全国を巡り、琵琶を奏でながら口頭で語り伝えることで広く庶民から武士まで浸透しました。その語りは「平曲」とも呼ばれ、独特の節回りで当時の人々の心を打ちました。
問12	答え 4 チンギス・ハン	1206年にモンゴルの首長たちによってハン（指導者）に選ばれたチンギス・ハンは、騎馬軍団を率いて中央アジアへ進出しました。高度な戦術と迅速な移動力を駆使して広大な領土を征服し、モンゴル帝国の礎を築きました。
問13	答え 3 鎌倉文化	鎌倉文化は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。彫刻では写実的で力強い表現が、文学では『平家物語』のような軍記物語が人々に親しまれました。また、禅宗の影響を受けて、簡素で力強い美意識が確立されたのも大きな特徴です。
問14	答え 1 乱世	「乱世」という言葉は、平穏ではない社会の荒廃や人々の不安な心理を表します。鴨長明は、当時の京都で起きた火災や地震などの災害を目の当たりにし、この乱世における人間の無力さを記録に残しました。
問15	答え 4 栄西	栄西は二度中国へ渡り、そこで修行して帰国後に臨済宗を伝えました。彼は座禅によって悟りを開くことを説き、武士たちの間に広く支持されました。また、宋からお茶の種を持ち帰ったことでも有名です。
問16	答え 3 一遍	一遍は全国を旅しながら、念仏を唱えて踊る「踊り念仏」を行うことで、阿弥陀仏の教えを広めました。彼が始めた宗派は時宗と呼ばれ、身分に関係なく多くの民衆から支持を集めました。